

ミュージカル『ISSA in Paris』 あらすじ解説イラスト

現代

東京

フランスに行ってみよう

海人 (ISSA)

母

親の七光りがコンプレックスのISSAこと海人は、新曲が書けず、殻に閉じこもり中。母を亡くした海人は、小林一茶に関する母の研究レポートを手にする…

かつて俳句の神童と呼ばれたが、江戸で貧しく奉公中の一茶こと弥太郎。異国船をみに、はるばる長崎出島へ向かい、鎖国中の日本から異国へ飛び立つ決意をする。

一茶の過去が見えるようになり、「弱きもの、貧しきもの」への一茶の目線に気づいた海人。振付家のルイーザたちとパリで過ごし、シンガーソングライターとしての自分を取り戻していく…

たどり着いた地は、革命前夜のパリ。ナイチンゲールの名で密かに革命運動に身を投じるテレーズと出会う弥太郎。一茶の運命は、歴史は、どう変わるのか!?

一茶の言葉には世界を変える力がある！君は日本に帰らなまね！

遥かなる時空を超えて

俺は決めた。日本には帰らない

過去

日本

フランスに行ってみよう

弥太郎 (-茶)

テレーズ

1801

ISSAと一茶が出会う奇跡の物語

Illustration: Sunohara Yayoi